

平成二十八年

# 新年を迎えて

三木市剣道連盟会長 神澤 正輝

新年明けましておめでとう  
ございます。

暖かい年明けの後、南国にも雪が降るといふ寒波がやってきましたが、会員諸氏におかれましては、お元気で新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、第三八回東播少年剣道大会を三木市が当番で開催いたしました。持ち回りの大会では参加者が一番多い大きな大会ですが、少年剣道教室保護者の方々、学校剣道部員、会員全員が準備から当日の任務に当たり無事大会を終



えたことを改めて感謝申し上げます。

また永年にわたる剣道指導の功績に対し、志染スポーツ少年団剣道部が全剣連から「少年剣道教育奨励賞」を受けました。

剣道人がめざす高段者に澤田薫氏が見事六段昇段、その仲間入りをはたしました。



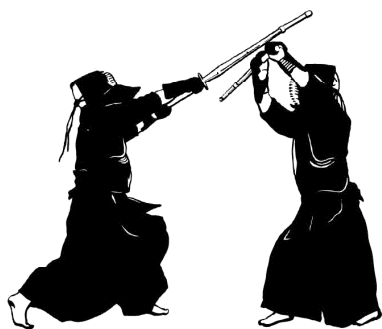
何よりうれしい出来事は三木市平田少年教室が再発足した

ことです。少子化の影響で各剣道教室の会員数が減りその運営が危ぶまれていた中、増やす努力が実った実例だと思えます。今後の活躍を期待します。各部会においては順調に運営されており、人員不足のおりも代理のスタッフがその役を務め滞りなく行事がなされました。

ところで、「あなたはなぜ剣道をするのですか？」と聞かれます。さまざま返事があると思いますが、健康のため、おいしいビールを飲むためでも良いですが、よりレベルの高い剣道を目指すためにはしっかりと目標を立てなければいけません。素晴らしい技、構え、竹刀さばきを見た時、自分もあんな剣道をしたいなあと思えます。そのためには何をやるかが見えてきます。稽古内容も今までは違つて基本稽古、打ち込み、切り返しを取り入れるようになります。そうすることで姿勢が良くなり、打突がしつかり出来、素晴らしい技につながります。楽な稽古からは向上はありません。今年も会員の方、全員と稽古をさせて頂くつもりでありますが、

その中身は互角稽古だけでなく、息の上がる打ち込み稽古を取り入れたいと思つています。さて、新年度に入り五月に中兵庫少年剣道大会開催という大きな仕事があります。今回も各教室保護者、学校剣道部員、会員の皆様方のご協力をお願いいたします。盛会を開催することによって剣道の素晴らしさを少年少女達に伝えることができると思います。今年も会員全員が、何らかの行事に携わり参加して頂きますようお願いいたします。

平成二十八年 一月



# 少年指導部の活動紹介

## 第4回スポーツクラブ21少年剣道大会開催される

平成27年12月6日(日)午後1時より、第4回三木市スポーツクラブ21少年剣道大会が加佐コミュニティスポーツセンターで行われた。この大会は、低学年の部を設け、初心者にとっても入賞のチャンスがあり、試合の経験を積ませるのにもってこいの大会だ。また、高学年の選手にとっても先月の市民大会に引き続き同学年のライバルと戦えるということ、見どころの多い大会でもある。小学2年生以下、3年生、4年生までは男女一緒に対戦し、5年生、6年生は各男子、女子の部が設定されている。入賞者は以下の通り。

### 【小2年以下の部】

- 優勝 有延俊稀(志染・夢スポ)
- 準優勝 山田慧士(剣修会・MOE)
- 3位 角石流侍(畠・スマイル・コスモ)

### 【小3年の部】

- 優勝 河野誠亮(志染・夢スポ)
- 準優勝 財田康平(剣修会・MOE)
- 3位 宇賀田陽大(緑が丘・ウイズ)

### 【小4年の部】

- 優勝 高井亮輔(畠・スマイル・コスモ)
- 準優勝 中西涼風(志染・夢スポ)
- 3位 小瀧晴太(畠・スマイル・コスモ)
- 3位 末廣徹(口吉川・TRY)

### 【小5年男子の部】

- 優勝 加村蓮(中央・三木西・東)
- 準優勝 石田直史(緑が丘・ウイズ)
- 3位 神吉瑠斗(中央・三木西・東)
- 3位 村岡巨章(緑が丘・ウイズ)

### 【小5・6年女子の部】

- 優勝 末廣美幸(口吉川・TRY)
- 準優勝 小山祐依(口吉川・TRY)
- 3位 濱邊真湖(中央・三木西・東)

### 【小6年男子の部】

- 優勝 大前吏央(志染・夢スポ)
  - 準優勝 安井真悟(志染・夢スポ)
  - 1位 今福謙太(畠・スマイル・コスモ)
  - 3位 松本晟弥(畠・スマイル・コスモ)
- (少年指導部副部長 大柴敏昭)

## ゴールテンエイシプロジェクトに7名が参加 浦先生の教えを受ける

平成27年11月21日(土)午前10時より加古川市立スポーツ施設日岡山体育館にて、「ゴールテンエイシプロジェクト」が開催され、三木市から講習生4名指導者3名が参加した。講師の先生は今年も判り易い講習で評判の浦教士八段講師。始めの座学では剣道の理念「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」をテーマに剣道の歴史か

ら始まり、熱く解りやすく語られた。「剣道が強くなるためには練習ではなく稽古をしなければ。古を守り考えること」が重要だと力説された。実技では「木刀による剣道基本稽古法」の礼法を正座の仕方から丁寧に教えられた。



午後からは基本稽古で、まず「足さばき」の注意点として、少し腰を下げて目線を変えずに行うこと、続いて「素振り」を早く振るコツは、左手を速く上げること、心がけ、送り足を正確にすることなどを重点的に稽古した。最後に元立ちに指導者が立って切り返しをたっぷり行った後、子どもたちは先生方の熱の入った稽古の見取り稽古をして終了した。最終礼法と基本を重視した解り易い内容のいい講習会を体験出来た充実した一日だった。(報告：少年指導部 小林哲也)

## 日本剣道形講習会 剣道を正しく学ぶ

平成27年10月2日、10月23日の二日間にわたり、三木市剣道連盟少年指導部の行事「第15回日本剣道形講習会」を開催した。三木市内の剣道教室から沢山の少年少女剣士延べ59名が参加し、三木市加佐コミュニティスポーツセンターで講習に懸命に取り組んだ。



主任講師西岡先生より、「剣道形を学ぶ事で、正しい姿勢、正しい打ちが出来る」とお話しして頂き、講習会が始まった。少年少女剣士を学年、級位を基準に3組に分け、各組に講師と各教室の先生方に補助を頂き指導を受けた。形を忘れてしまった子どもや、おぼつかない動きをする子どもたちが多く見受けられたが、2日目終了時には、初日の事を忘れるほどしっかり出来るようになっていた。普段の稽古の中で、木刀を持って稽古する事の重要性を今回の講習会で改めて感じる事ができた。竹刀を持ってスピードとパワーだけに頼るのでなく、剣道形には現代剣道の理合いが詰まっていると感じられた意義のある講習会だった。(少年指導部 谷淵勝己)